

■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]	■ 単位数
	森林・林業入門Ⅱ [Introduction to forestry and forestry II]	1
■ 担当教員(責任)[ローマ字表記]		
豊田 信行 [TOYOTA Nobuyuki]		
■ 担当教員[ローマ字表記]		
豊田 信行 [TOYOTA Nobuyuki]		

■ 授業題目(必須入力)

森林・林業入門Ⅱ

■ 授業のキーワード(必須入力)

森林・林業・林産業の位置づけ, 目標林型, 森林施業, 針葉樹人工林, 里山広葉樹林

■ 授業の目的(必須入力)

環境と産業としての林業・林産業を大きく捉えた上で、我が国の潜在植生としての天然林を理解すると共に、針葉樹人工林で生産目的を達成するために必要な施業方法を理解する。これら森林施業の得失を理解することで、地域森林に望ましい目標林型を検討し、管理技術としての森林施業を選択する基礎能力を身につける。

■ 授業の到達目標(必須入力)

- 1) 環境と産業としての森林・林業・林産業を大きく捉える。
- 2) 日本の森林と地域林業の特徴、保育形式が理解出来る。
- 3) 生産目標の立ち位置を理解した上で、これを達成するための施業方法とその特徴を説明できる。
- 4) 気象条件や立地条件と目標林型より、現場に望ましい施業方法を選択することができる。
- 5) 政策で勧められている施業方法の得失が理解できる。

■ 授業概要(必須入力)

森林と林業・林産業の立ち位置を大きく捉える。
 その上で林業の基盤である針葉樹人工林で、生産目標を理解しこれを達成する森林施業について、

1. 日本の森林分布と林業地の特色
2. 森林の地球温暖化防止機能と林業の経済性
3. 間伐による密度管理方式と間伐方法
4. 政策で勧められている間伐、複層林、長伐期施業、針葉樹人工林の広葉樹林化、里山広葉樹林について、実態と得失を解説する。

■ 授業スケジュール(必須入力)

- | | |
|---------|--|
| 第1回 | 環境としての森林と産業としての林業・林産業の現状、潜在植生、針葉樹人工林 |
| 第2回 | 森林土壌、生産目標、保育形式と林型 |
| 第3・4回 | 育苗・育林・針葉樹人工林演習(現地:久万高原キャンパス) |
| 第5・6回 | 間伐と林分密度管理、スギ・ヒノキの成長と現実林分収穫表、里山広葉樹林の管理方法 |
| 第7・8回 | スギ・ヒノキ人工林施業と林分構造、里山広葉樹林の植生演習(現地:えひめ森林公園) |
| 第9・10回 | 森林の地球温暖化防止機能、選択可能な目標林型、伝統的な林業の現状 |
| 第11・12回 | スギ複層林、優良材生産林の演習(現場:久万高原町内)、まとめ |

■ 授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

3日の集中講義では、3時間程度研修会場近くの森林に行きます。まず、森林と林業の現場を体験して頂きたい。業務の都合等で現地実習の一部を欠席した場合は、後日できる範囲で実習の現地へ行き、教員が何を伝えなかったか感じてきて欲しい。

■ 成績評価方法(必須入力)

受講時の質疑応答とレポートにより評価する。

■ 受講条件(任意入力)

現地演習では、歩道以外の林内を歩きます。軽登山靴以上(例えばハイキングシューズ、安全靴、地下足袋、長靴等)の足揃えをお願いします。マダニと蚊の発生時期です。長袖、長ズボンを着用し、皮膚の露出を極力抑えて下さい。小雨決行です。簡単な雨具を用意下さい。ザック・帽子・手袋と水筒の持参をお願いします。

受講のルール(任意入力)

3日間の集中講義(1日4コマ×90分)を予定しています。2日は久万高原キャンパス、1日は伊予市上三谷のえひめ森林公園で開講します。

教科書(購入する必要がある図書)(必須入力)

教科書1	書名	イラスト図解 造林・育林・保護			ISBN	978-4-88138-196-0
	著者名	月刊「林業新知識」編	出版社	全国林業改良普及協会	出版年	2008
教科書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書1	書名	森づくりの原理・原則—自然法則に学ぶ合理的な森づくり—			ISBN	978-4-88138-357-5
	著者名	正木 隆	出版社	全国林業改良普及協会	出版年	2018
参考書2	書名	イラスト図解 造林・育林・保護			ISBN	978-4-88138-196-0
	著者名	月刊「林業新知識」編	出版社	(社)全国林業改良普及協会	出版年	2008

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

必要な資料は、授業当日に印刷物を配布します。

オフィスアワー(必須入力)

主にE-mailで連絡下さい。

連絡先(必須入力)

メールアドレス: toyotab@xui.biglobe.ne.jp

参照ホームページ(任意入力)

該当なし

その他(任意入力)